

うじたわら

議会だより

No. 101

2019.11.1

平成30年度の施策を検証(決算特集)	2p~6p
町政ズバリ間く(一般質問)	9p~19p
議会運営委員会 2 町を視察(研修報告)	20p
インタビュー(大川雄平さん)	21p

=田原小学校 運動会=
親子で協力デカパンリレー

平成30年度 決算

積極的な投資に



奥山田化石ふれあい広場整備事業
1,917万5千円



情報伝達システム整備事業
7,987万1千円



小学校ブロック塀等改修事業
962万7千円

将来の財政を危惧 する声も上がる中

認定



新庁舎建設事業
2億9,706万5千円

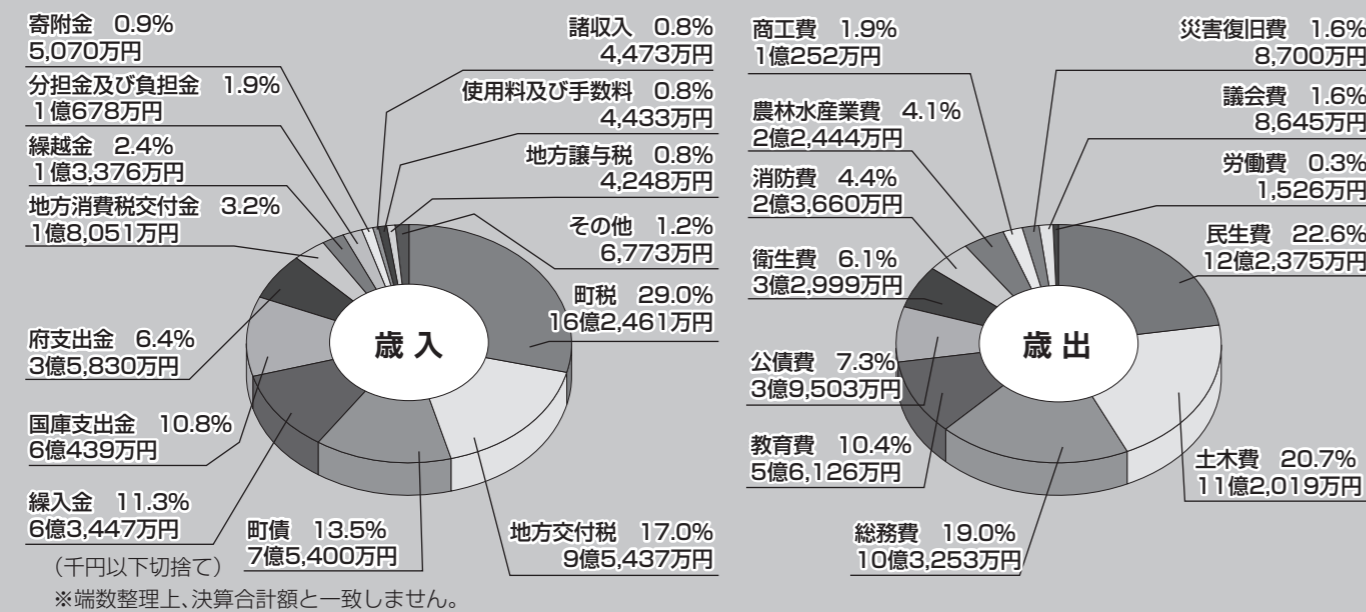


宇治田原山手線整備事業(緑苑坂以北)
2億4,578万5千円



新市街地都市公園整備事業
1億3,985万8千円

令和元年第3回定例会は、9月2日から27日まで開催した。予算関係3件(補正予算)、条例関係3件(改正)、一般議案2件、人事案件1件(監査委員の選任)、決算認定6件について提案があり、原案通り可決・同意・認定した。一般質問には10人の議員がたち、活発な議論を展開した。



各会計の決算一覧

(千円以下切捨て)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額		
一般会計	56億 121万円	54億 1,508万円	1億 8,613万円		
特別会計	国民健康保険	11億 3,069万円	11億 1,454万円	1,615万円	
	後期高齢者医療	1億 1,127万円	1億 983万円	144万円	
	介護保険	保険事業勘定	7億 7,119万円	7億 4,165万円	2,954万円
		介護サービス	754万円	492万円	262万円
	公共下水道事業	6億 1,620万円	4億 8,835万円	1億 2,784万円	
水道事業会計	収益的	3億 1,109万円	2億 7,327万円	3,782万円	
	資本的	8,505万円	2億 1,177万円	△1億 2,672万円	

持続可能な財政運営の確立を

定例会

6議案を原案通り認定 決算特別委員会

決算特別委員会は、監査委員を除く11名で設置し、委員長に松本健治議員、副委員長に馬場哉議員を選出して審査を行い、6議案すべて原案どおり認定した。

9月18日から24日まで決算特別委員会を開催した。18日、19日は、平成30年度一般会計歳入歳出決算の総務部をはじめとする各所管分、併せて特

別会計、水道事業会計の個別審査を順次行った。また、20日には奥山田化石ふれあい広場、長距離スピーカー、南児童遊園、西ノ山展望台の4カ所の現地審査を実施した。



建設が進む新庁舎

さらに、24日には総括審査に移り、総括質疑を行った後、それぞれの議案についての採決を行い、決算特別委員会を閉会した。

ここが聞きたい 〈総括質疑〉

広い公園整備は必要か
(今西久美子議員)

財政状況が非常に厳しい中で、これほど広い公園整備が優先されるのか。

都市公園は、安心・安全な中核的な総合公園の整備を望む多くの住民の声を聞き、防災機能を有した公園として、新庁舎と併せて整備するものである。

観光振興にソフト面の充実を
(今西久美子議員)

観光振興として、宗円交遊庵「やんたん」などハード面での整備は進んだ。今後マンパワーを活かすなどソフト面の充実が重要では。

本町には、古来より

実質単年度収支の黒字化を
(馬場哉議員)

いずれ財政調整基金が底をつき、予算が組みなくなる。実質単年度収支の黒字化をめざさなければならぬと考えるが。

実質単年度収支の黒字化は、財政収支の均衡と健全な財政運営を図る



整備が進む西ノ山展望台

討論 一般会計決算認定

反対

借金まみれで 希望が持てるのか
(今西久美子議員)

一般会計では、実質単年度収支で7年連続の赤字となった。借金残高は約48億円、財政調整基金は約6億円となり、今後も将来負担比率は大幅に増加する。町長は「希望と責任」が持てるまちづくりと言うが、未確定な増収増を見込んで貯金を取り崩し、借金まみれの財政運営で未来に希望が持てるのか。だれが責任を負えるのか。結局、その負担は住民が負うこととなるのではないか。

賛成

人口減少の克服と地域創生の実現を
(山内実貴子議員)

宇治田原山手線整備事業では、第1区間の用地測量、橋梁詳細設計を実施、国道307号以北約1.2kmの道路整備を委託し、住民会議とともに各種活動を推進している。新庁舎建設も着々と事業が進み、町ホームページにも進捗が掲載されている。人口減少対策、移住定住対策にも積極的な取り組みを評価する。今後も、西谷町長の強い決意と決断で中長期的な視野に立ち、さまざまな施策を推進しつつ、財政運営の適正化と健全化に取り組むよう望む。



子ども達も楽しめる奥山田化石ふれあい広場

上で重要であるが、現在、将来のまちづくりに向け投資を行っている重要な時期である。今後も、第6次行政改革大綱に基づき、事務事業の効率化、公債費対策、歳入確保の取り組み等で、持続可能な健全な財政運営の確立に努める。

歳出抑制等の
実行が必要では
(馬場哉議員)

歳出抑制等を実行しなければならぬ。検討は進んでいるのか。

当初予算では経常経費10%のカットを実施した。予算のシーリング、削減も1つの方法である。来年度予算に向け事

〈個別審査〉

一般会計
(議案第34号)

業見直しやスクラップ&ビルドを行うとともに、補助金についても十分検証する中で議論していきたい。

ハートのまちPR事業について、#(ハッシュタグ)キャンペーンの取り組み成果は。

2種類の#での発信を行い、発信件数は「#ハートのうじたわら」で約600件、「#うじたわらいく」で約300件と把握している。多くの方に宇治田原町のPRが広がっていくことをねらいとしている。

保育所の園庭全体の整備を行った結果、安全性と子ども達の様子は。

新しい滑り台の設置により、子ども達も喜んでいる。さらに、運動会に向けての練習も、広々と使用できるようになった。

有害鳥獣対策で、町において猪や鹿に対応できる大きな檻を作製して、設置することはできないか。

現在町内に21基の猪、鹿が入る大きさの檻を区で購入してもらっている。今後も区長、猟友会との連携で、町でも檻を購入し、捕獲を検討していく。

田原小学校ブロック塀等改修事業について、これまでは防音壁であったが、ネットフェンスになり、騒音等の問題はないのか。

学校現場に確認したが、特に騒音等で授業に支障はないと聞いている。

国民健康保険会計
(議案第35号)

○ 広域化による影響は。
○ 事務量は、総合的に判断すると変わらないと感じている。広域化のメリットとしては、納付に必要な税収入が確保できない場合を除いては、平成29年度以前のように赤字となることなく、納付したことが大きいと考えている。

討論 国保会計
(山本精議員)

反対
国からの1兆円の財政支出を国保加入者の約半数が軽減世帯となっている。払いたくても払えない実態を反映し、収入未済は3470万円を超える。今後、さらなる国保税の引き上げが予想される中、国からの1兆円の財政支出を強く求めるべき。



めぐせ1日 8800 歩

後期高齢者医療会計
(議案第36号)

○ 保険料の軽減が廃止・縮小されたことに伴う影響は。
○ 所得が58万円以下の方に対する軽減は、2割軽減から30年度は本則通りで軽減が無くなっており、算定となる所得が58万円を試算すると1人1万8000円ほどの影響があった。被扶養者においても軽減縮小の影響があった。

介護保険会計
(議案第37号)

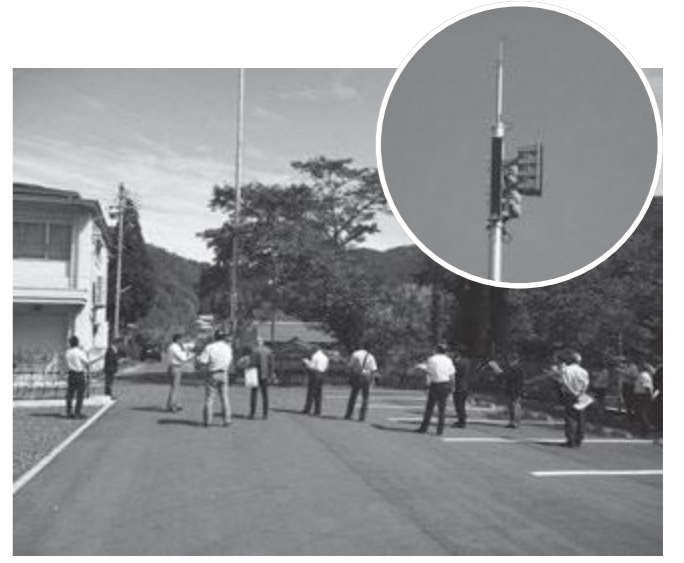
○ 第7期計画で削除された小規模特養施設整備について、サンビレッジの増床も含め、新たに次期計画に挙げていくのか。
○ 第7期計画では施設整備は、動向やニーズを踏まえて検討するような記載となっている。サンビレッジやサービズ事業所の開設に係る相談もあつた中、高齢者が増加していく現状を踏まえ、第8期に施設整備等の計画を検討する。

討論 後期高齢者医療会計
(山本精議員)

反対
年齢制限のない制度に
高齢になるほど病気になる、医療費が上がることは必至。75歳以上を一つの制度にまとめ、高齢者人口が増えるたびに負担割合を増加させる後期高齢者医療制度は廃止し、年齢制限のない制度に改善すべき。

決算監査意見書(要旨)

平成30年度宇治田原町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、それぞれの歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査、財産に関する調査、各種関係諸帳簿及び証書類等を審査した結果、各会計とも良好であると認める。
現地調査についても、資料及び現地での事業状況を審査した結果、事業の執行は適正であると認める。
今後においても、人口減少、少子・高齢化等により、本町を取り巻く状況は厳しい状況で推移することが予想されることであるが、中長期的な視野に立ち、なお一層、適切な事務執行に努められることを期待し、監査の意見とする。
監査委員



災害時に情報を伝達する長距離スピーカー

人事案件

監査委員の選任同意



本多 八朗氏
(岩山)

任期 令和元年10月1日～令和5年9月30日

予算特別委員会

一般会計補正予算
(議案第27号)

幼児教育・保育無償化に関する財源は

○ 幼児教育・保育無償化に関連する予算の財源について、今年度は国からの子ども・子育て支援臨時交付金で全額措置されることであるが、次年度以降は。
○ 国は消費税率を10%に引き上げ、その増収分

を使うとしている。来年度以降については、幼児教育の無償化に係る地方負担分について地方財政計画に全額歳出を計上し、基本的には地方消費税交付金を充当する形になる。不足分については交付税の算定で基準財政需要額に算入することで、原則全額国費で対応するという考え方になっている。

総務建設常任委員会

水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正(議案第32号)

新名神高速道路の着工に伴い、城陽市域にインターチェンジが建設されることから、本町上水道の給水区域を拡張するため、所要の改正を行うもの。

給水人口と第5次まちづくり総合計画との関連は

○ 給水人口を1万1200人から9710人に変更することについて、1500人程度下方修正することは、第5次総合計画における1万人構想の見直しをしなければならぬのでは。
○ 2040年に人口1万人をめざすとされているものの、現状厳しい部分

財産の取得について(議案第33号)

新庁舎の本庁並びに保健センター・地域子育て支援センター1棟について、執務室、議会関係諸室の机・椅子、カウンタ―等の備品を購入するもの。

転用による削減効果は

○ 什器を転用することは、経費削減の観点から非常に評価できることであるが、転用によって金額的にどれくらい削減できるのか。
○ 取得予定金額で率計算すると7000万円程度の削減が可能となった

討論 請負契約の締結

反対

災害時に倒壊等の不安がある

(今西久美子議員)

保健センター・地域子育て支援センター棟は、新庁舎同様、砂利採取跡の埋立地であり、地震等の災害で土地の陥没や建物のゆがみ、倒壊などの不安はぬぐえない。多くの住民が利用する両施設を、この場所に建設することには反対。

工期内に完成できるのか

○ 保健センター・子育て支援センターについて、基礎杭は打たないとなつているが安全性は。
○ 設計段階において大丈夫との判定をしてもらっている。コンクリートでの基礎で工事は進めていきたい。
○ 工期は間に合うのか。
○ 設計では6カ月の工期が必要であるが、工期未まで7カ月あるため完成可能である。

一般質問

ズバリ! 町政を問う

9月5日~6日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

質問者	質問事項
1 藤本英樹 (10p)	1. 交通安全対策について 2. 通学路の安全対策と今後の対応について
2 今西久美子 (11p)	1. 小中学校一体型について 2. ごみについて 3. 総合文化センターについて ●高齢者の交通安全対策について
3 山本 精 (12p)	1. 高齢者対策について 2. 有害鳥獣被害対策について
4 浅田晃弘 (13p)	1. 活気あふれる交流のまちについて 2. 快適に過ごせるまちづくりについて
5 垣内秋弘 (14p)	1. 家庭ごみ問題について 2. お茶の世界文化遺産の登録について 3. 御林山(町有林)に展望台の設置について

質問者	質問事項
6 谷口重和 (15p)	1. 公共施設の在り方について 2. ヘリ・エアポートの誘致について 3. まちづくり総合計画について 4. ゴミ回収について
7 山内実貴子 (16p)	1. 新庁舎完成にむけて 2. 観光施策への取り組みについて
8 松本健治 (17p)	1. 子ども達の安全について 2. 健康増進法の一部改正について 3. 新庁舎移転後の公共交通について
9 馬場 哉 (18p)	1. 学校給食の食品ロス 2. 都市計画について ●ごみ行政の課題
10 原田周一 (19p)	1. 環境問題について 2. 教育問題について

●印の質問情報は本誌には掲載されていません

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	山本	今西	垣内	田中	原田	馬場	松本	谷口重	浅田	藤本
人事	議案第40号	宇治田原町監査委員の選任について(本多八朗氏の再任)			同意	○	▲	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	議案第27号	一般会計補正予算(第2号)(幼稚園教育振興事業費などの追加)【995万円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	介護保険特別会計補正予算(第1号)(過年度分国府支出金返還金の追加)【1338万4千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第29号	水道事業会計補正予算(第1号)(配水管移設等事業費の追加)【資本的収入1824万円の追加】【資本的支出1500万円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第30号	職員の分限に関する条例等の一部を改正する条例を制定するについて(法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第31号	宇治田原町印鑑条例の一部を改正する条例を制定するについて(法施行令の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第32号	宇治田原町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(給水区域拡張に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第33号	財産の取得について(新庁舎の備品の取得)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	宇治田原町保健センター・地域子育て支援センター棟建設工事(建築工事)請負契約の締結について【契約金額1億2906万円】	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
決算認定	議案第34号	一般会計【歳入56億121万円 歳出54億1508万円】	✓	✓	認定	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第35号	国民健康保険特別会計(事業勘定)【歳入11億3069万円 歳出11億1454万円】		✓	認定	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	後期高齢者医療特別会計【歳入1億1127万円 歳出1億983万円】		✓	認定	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	介護保険特別会計【保険事業 歳入7億7119万円 歳出7億4165万円】【サービス事業 歳入754万円 歳出492万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	公共下水道事業特別会計【歳入6億1620万円 歳出4億8835万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	水道事業会計【収益的収入3億1109万円 支出2億7327万円】【資本的収入8505万円 支出2億1177万円】			認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎谷口整議長は賛否同数以外は表決に加わりません

表決結果

急発進防止装置への補助を

【答】調査・研究を行い検討していく



藤本 英樹 議員

【質問】 高齢運転者の操作ミスによる重篤な交通事故が多発している。東京都では「急発進防止装置」購入費の90%を助成する制度を制定された。井手町では

【答弁(総務課長)】 高齢者の運転による事故の防止、軽減を図るためには安全運転支援装置も有効な手立てであると考え、様々な装置や手法があり、調査・研究を行い検討していく。

【質問】 駐車場にある車止めにローラーを組み込み、乗り越えを防止する装置が開発された。新庁舎駐車場に取り入れることを検討しては。

【答弁(建設環境課長)】 新庁舎駐車場は建物から少し離れた場所に設置予定であり、導入予定はないが、新庁舎に捉われず、住民の生命、財産を守るために必要なものは導入を検討していく。



踏み間違い防止装置

登下校時の安全対策強化を 【答】対策時期を見極め検討していく

【質問】 気象条件の変化による下校時の高温化、交通量の増加や有害鳥獣と遭遇する可能性など、登下校時の危険は増加してい

【答弁(学校教育課長)】 少子化がさらに進行し、小学生の数が極めて少なくなるなど、対策が



禅定寺地区が実施しているスクールタクシー

学校施設一体型は「一から議論を

【答】丁寧の説明し意見を反映させる



今西 久美子 議員

【質問】 学校施設一体型の説明会の回数、参加人数は。

【答弁(教育長)】 丁寧な説明や意見を反映した取り組みにより、住民のみなさんに後押しを喚起し、一から議論を。 いただけよう事業の推進に努める。

「ゴミを減らす取り組みを 【答】新たな資源物の回収も検討したい

【質問】 子どもや地域にとって重要なことを、十分な説明がいきわたっていない状況で進めてよいのか。説明が不十分では。

【答弁(建設環境課長)】 他市町では海外リユース事業(かばんや靴、雑貨などを再利用するため、業者に売却する)や、食品ロス削減の取り組みとしてフードサイクル事業に取り組んでいる。町でも新たな資源物の回収により、ごみの減量を。



ゴミの適切な分別を

【質問】 教育委員会として、もつと住民の間での議論

【答弁(建設環境課長)】 町社会福祉協議会の福祉バザーや、城南衛生管



築20年を超えた総合文化センター

総合文化センターの整備計画を 【答】財政と相談し計画的に進める

【質問】 総合文化センターは築20年を超え、設備等の老朽化が進んでいる。今後

【答弁(社会教育課長)】 整備計画を作り計画的に整備すべきでは。

設計を作成したが、大規模改修には多額の費用を要する。今後、有利な財源も検討する中、財政担当課とも十分協議し、計画的な施設整備に努める。

必要となった場合には、その都度検討していきたい。

【質問】

禅定寺地区の小学生は保護者と区が協議し、スクールタクシーを運行し、独自で安全対策を行っている。

【答弁(教育長)】

徒歩通学を原則とするが、各地区の道路事情などもあり、クリエイト会議で検討していく。

対象者に補聴器の補助を

【答】調査・研究課題とする



山本 精 議員

【質問】 身近な高齢者に難聴の方が多くみられる。難聴を防ぐには食事のコントロールや運動をすること

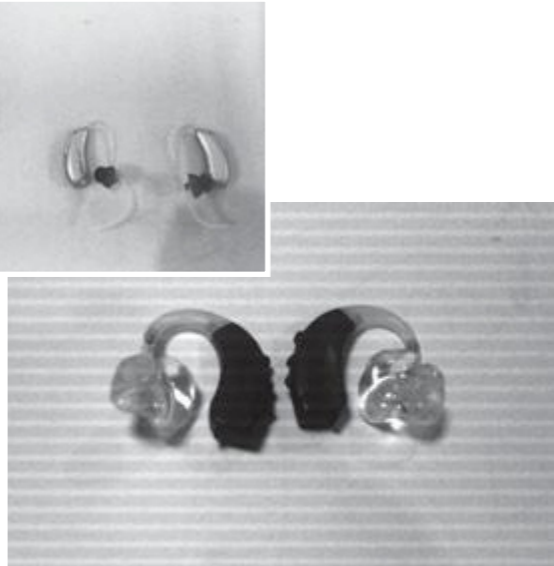
【答】(健康福祉部長) 20%といわれている。補聴器助成制度を含む難聴者対策は、

【質問】 大事なことである。聞こえが悪くなれば、補聴器に頼るしかないが、補聴器は値段が高く、使いにくい

【答】(健康福祉部長) 障害者総合支援法に基づき支援をしている。身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者への補聴器の購入費用について、住民税非課税世帯は自己負担額が無料である。町独自制度として住民税所得割額が、16万円未満の世帯に対しては自己負担額を助成している。

【質問】 難聴は認知機能低下の危険因子と見なし、今後難聴に対する適切な支援等で、認知症やうつ病の予防ができるかと期待されている」と報告している。

【答】(健康福祉部長) 難聴は認知症の危険因子である可能性について、厚生労働省の機関において研究が行われている。国の機関での研究内容の報告等を注視する中、制度については調査・研究し、今後の課題とする。



タイプの違う補聴器の色々

【質問】 世界保健機関(WHO)は、軽・中度難聴者も補聴器をつけることを推奨している。厚生労働省は

【答】(健康福祉部長) 難聴は認知症の危険因子である可能性について、厚生労働省の機関において研究が行われている。国の機関での研究内容の報告等を注視する中、制度については調査・研究し、今後の課題とする。



群れを見守るボス猿

野猿対策その後は

【答】発信機の取り付けを再度行う

【質問】

【答】(産業観光課長) 猿や猪、鹿による農作物への被害状況はひどくなっている。昨年の一般質問でGPSをつけて野猿の行動を事前把握するように求めたが、その後は、

【質問】 猿や猪、鹿による農作物への被害状況はひどくなっている。昨年の一般質問でGPSをつけて野猿の行動を事前把握するように求めたが、その後は、

【答】(産業観光課長) 家庭菜園の防護に対する補助制度はないが、農振用地であれば町単独補助制度が利用できる。

【質問】 野猿への発信機は6月に取り付けを行い、行動把握をしていたが、現在は

【答】(産業観光課長) 家庭菜園の防護に対する補助制度はないが、農振用地であれば町単独補助制度が利用できる。

地域資源を活かした交流を

【答】新製品で地域間交流を促進する



浅田 晃弘 議員

【質問】 町商工会婦人部は、お茶を練り込んだお香「宗圓香」を世に送り出し、

【答】(副町長) 人部の交流が縁で、災害相互応援協定を締結することができた。

【質問】 現在も販売を行い、英国ロンドンの店頭にも並べられていたと聞いている。

【答】(副町長) 地域活性化や本町のPRのためにも、地域間交流が活発に行えるよう、地域資源を活かした商品開発や手厚い支援施策が必要である。

【質問】 また、町が交流している岐阜県池田町とは、

【答】(副町長) 今後、新名神高速道路の開通や大阪万博の開催等、関西圏域が注目される。

この機会を失うことなく、民間の地域間交流促進のため、関係機関と連携を促進していく。

【答】前向きに取り組む

【質問】

本町において作成している、原動機付き自転車等のナンバープレート



交遊庵やんたんで販売中の「宗圓香」



ご当地ナンバーでPRを

ご当地ナンバーにして

【質問】

【答】(副町長) 本町オリジナルプレートをつけた車両が、町内外を走ることにより、地域ブランドのPRなど、まちの活性化に寄与するものと考えている。

【質問】 安全運転支援対策の調査・研究と合わせて、検討していく。

【答】(総務課長) 安全運転支援対策の調査・研究と合わせて、検討していく。

ゴミの減量化とレジ袋の有料化は

【答】レジ袋の有料化は国の動向を注視



垣内秋弘 議員

【質問】

プラスチックゴミは海洋汚染の主要原因で大きな問題になっている。中でも使い捨てられているレジ袋、包装容器、ペットボトル等が大きな要因である。欧州をはじめ近隣諸外国ではレジ袋の有料化を実施しており、政府も

有料化方針を決定しているが、本町の基本的な考え方とスタンスは。

【質問】

レジ袋が無償化廃止で有料化になれば、本町独自でハートマークか茶ツピーマークの入ったエコバックを作製し全戸配布すべきでは。

【質問】

レジ袋が無償化廃止で有料化になれば、本町独自でハートマークか茶ツピーマークの入ったエコ

【質問】

エコバック作製も一つの方策として減量化に向けた取り組みを進める。

宇治茶世界文化遺産への取り組みは

【答】文化遺産登録へ関係機関と連携

【質問】

宇治茶の世界文化遺産への登録に向け、様々な活動を推進されているが、ブランド力を高め宇治茶の名声をさらに広め、遺産登録に結び付ける必要があるが、今後の取り組みは。

【質問】

日本緑茶発祥の地である本町は、山城管内自治体と連携しながらブランド力向上と、世界文化遺産登録に向け、鋭意取り組む。また、本町茶葉の魅力発信と住民の機運醸成にも努める。



ハートマーク入りエコバックの作製を

総合文化センター駐車場の取得は

【答】概ね了解を得た

【質問】

以前から幾度となく質問してきた多くの借地問題について、特に大きな総合文化センターの駐車場の取得については声を大にして発言してきたが、解決できるのか。現在の進捗は。

【質問】

相手方の事情や希望もあり機械的に進めず、時間をかけながら理解を得るべく努めてきた。結果、概ね了解を得ることができたが、所有権移転登記を完了するまでには、もう少し時間を要する。



谷口重和 議員

宇治田原を空のまちに

【答】大型公共施設の誘致も含め進める

【質問】

新名神高速道路の完成を間近に控え、ドローン実用化が目前に迫る中、「空のまち宇治田原」へリ・エアポート誘致のプランニングを強くアピールすべきと考えるが、町のトップセールスは。

【質問】

自ら先頭に立ち声を上げていくことが重要である。大型投資的事業をはじめとする施策を着実に推進する中で、大型公共施設誘致を含め、未来に向けて希望と責任の持てるまちづくりを進める。

土地利用構想の細分化を

【答】構想見直しの中で議論を進める

【質問】

付加価値の高いまちづくりを進める新都市創造

ゾーンだけでも細分化を図るべきである。住居・

企業誘致等、ヒートアップ

御林山に展望台の設置を

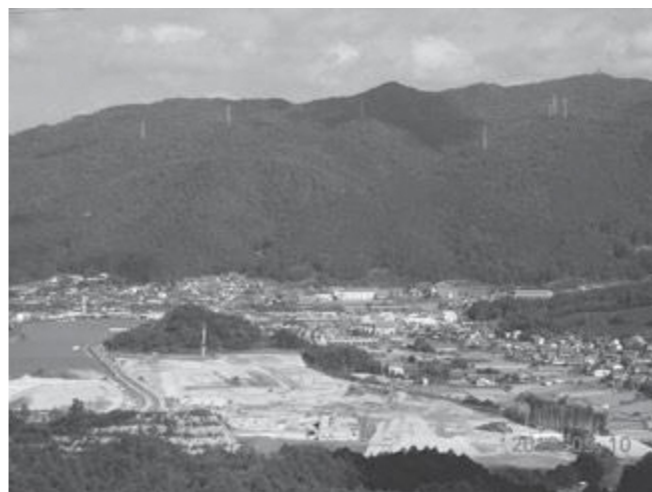
【答】絶好のロケーション今後活用検討

【質問】

本町の大半の集落が一望でき、遠くは大阪方面も眺望できる御林山（町有林）に簡易的な展望台を設置し、将来的に観光の一環としては。

【質問】

い眺望と認識している。新庁舎から2kmの距離となり、ウォーキングコースの休憩、展望場所として大変有効と考える。利用者への憩いの場となるよう検討していきたい。当該地は大変素晴らしい。



この景色は心が癒される

【質問】

資源ごみ、特に金属類は大きな住民の財産であるが、数年前より頻繁に不審者によって持ち去られている。この不適切な行為を止めるためにも条例改正に向けて議論している。

資源ごみの持ち去りを止めるには

【答】条例改正に向けて議論している

【質問】

資源ごみ、特に金属類は大きな住民の財産であるが、数年前より頻繁に不審者によって持ち去られている。この不適切な行為を止めるためにも条例改正に向けて議論している。

【質問】

例等を即刻に改正しなければと思うが。資源ごみを含む一般廃棄物の収集運搬を許可制にすべく条例改正に向けて議論している。



長年借地してきた総合文化センター駐車場



頻繁に持ち去られる資源ごみ

新庁舎完成へ建設予定地の周知を

【答】町ホームページに掲載



山内実貴子 議員

【質問】

新庁舎の建設が、目に見えて進んでくる時期に入った。今後どのように周知していくのか。また、完成へワクワクした思いと親しみが持てるよう、建設地のシンボルとして看板を設置しては。

【答】まちづくり推進部長】

工事の進捗状況については、町ホームページにて、町ホームページに工程と現場写真を掲載している。看板の設置は困

難であるが、完成後新庁舎及びその周辺の新市街地の魅力発信へ、庁舎の内覧会や記念イベントの開催などに取り組む。

【質問】

ハートのまちとして交流を進めている沖繩県南城市は、庁舎や市内にハートがあふれている。本町もお茶とハートのまちのイメージが持てる新しいイメージが持てる新

【質問】

ハートのまちにふさわしい「おもてなし」の心で来訪者をお迎えしたい。観光スポットへの道しるべや休憩所の設置についての考えは。

【答】(産業観光課長)】

案内看板やサインについては、周辺環境にも配慮したものを順次設置しているところである。今後も、案内サインの整備や観光パンフレットの内容の充実をめぐる。住民の皆様が「我が町に誇り」を持てるよう交流人口の増加に向け、観光諸機関とも連携していき



もっとハートのまちのPRを

観光案内のサイン等の充実を 【答】サイン整備、パンフ充実に努める

【質問】

観光パンフレットが置かれている店舗や施設などに、設置を知らせる表示とPRを。

【答】(産業観光課長)】

観光パンフレットについては、設置場所の表示



「ガイドマップあります」など周知、表示を

役場前交差点の交通安全対策は

【答】信号機設置を警察署に強く要望



松本健治 議員

【質問】

役場前町道の朝の通勤時間帯には、1時間で600台を超える車両が行する。その時間帯に子ども達は横断し登校しており危険性は高い。交通安全対策は。

【答】(副町長)】

当該交差点の周辺は注意を要する箇所と認識している。信号機設置に向けて、田辺警察署を通じて、強く要望し、また庁舎移転の時期には交差点の改良等を検討していく。

【質問】

中学生などの自転車の安全な通行のため、国道307号沿いの車道や歩道に雑草や路面の凹凸が目立ち、安全走行に支障がある。交通安全対策は。

【答】(副町長)】

京都府では国道307号の車道及び歩道部分の草刈りを、主に夏場に実施している。特に通行に支障のある歩道部の修繕や草刈りは、早急に対処をお願いする。

新庁舎移転後の公共交通は 【答】町営バスのルート見直しで対応

【質問】

半年後に新庁舎が完成する。高齢者の免許証自主返納が進む中、新庁舎への公共交通のアクセスを早く住民に明確にするべきでは。

【答】(まちづくり推進部長)】

今年度の地域公共交通会議で、新庁舎へのアクセス確保の検討を進めており、町営バスルートの見直し、ダイヤの検討を協議している。方向性がれば住民に周知する。



横断者は危険がいっぱい

受動喫煙への対応が曖昧では 【答】公共施設の敷地内は全面禁煙に

【質問】

健康増進法が一部改正され、受動喫煙への対応が厳しく、全ての公共施設の敷地内が全面禁煙という理解でよいのか。また新庁舎や加熱式タバコも同様の取り扱いか。

【答】(副町長)】

健康は誰しもの願いであり、受動喫煙の観点のみならず、本人の健康管理の観点からも公共施設の敷地内を全面禁煙とする。新庁舎や加熱式タバコも同様とする。



新庁舎への公共交通を



給食の食品ロス削減は

【答】食の大切さを発信する

【質問】 食品ロスは、社会問題と認識され対策が始まっている。学校給食の食へ残しの現状は。

【質問】 園児が野菜を育てる体験や、小学校では食材の生産者を招いての食育授業の実施等で、苦手が克服できる。SNSでの給

【答弁(学校教育課長)】 食情報の発信など、学校現場だけでなく家庭との連携も重要ではないか。給食の食品ロス削減に向けて今後の取り組みは。

【答弁(学校教育課長)】 給食の時間を食育の授業と位置付けている。健康で成長するために必要な物は、子どもたちが苦

【質問】 自校方式の給食は、食



本町が誇る給食甲子園準優勝の給食

【答弁(学校教育課長)】 自校方式は、調理員と児童生徒が顔の見える関係を築くことができ、人や物に感謝する心を育む。他に、出来立ての給食の提供や配送回収に掛ける時間等の縮減、設備費用の軽減などのメリットがある。施設一体型整備の中で、あらゆる角度から検討していく。



馬場 哉 議員

宇治田原IC周辺の土地利用は 【答】制度を適切に運用していく

【質問】 IC(インターチェンジ)近くは、その利便性を活かし今後も開発が行われるのではないかと考えている。観光客の受け入れ口であり、近くに住宅地もあることから、環境面を考慮した開発や建築制限も必要では。

【答弁(建設環境課長)】 「IC周辺環境保全特用用途地区」を指定し、住居地域への環境負荷の軽減と土地利用を適切に誘導するため、事業所の業種の限定を行っている。今後ともこれらの制度を適用し、立地企業また事業者の誘導を図っていく。



事業所の建設が進むIC周辺

温室効果ガスの削減結果は

【答】目標値に対し未達成

【質問】 町では平成19年度に「地球温暖化防止実行計画」を策定した。平成24年度から28年度までの第2期計画の検証は。

【答弁(建設環境課長)】 第2期計画では温室効果ガスの削減目標を5%

【質問】 昨今の新入社員はエコに対する意識が根付いているが、中堅世代は大きい。

【答弁(建設環境課長)】 若い世代と中堅世代は環境への意識のギャップがあり、問題意識の共有が重要。設備の更新費用も考慮すると単純に比較できないが、コスト面も意識する中で取り組む。



原田 周一 議員

【質問】 本町は75%が山林であり、FM(森林管理)認証に積極的に取り組むべきでは。

【答弁(建設事業部長)】 FM認証は、環境保全の観点からも適切で経済的にも持続可能な森林管理制度であるが、未管理山林の適正化に向け検討を始めたところであり、認証取得には至っていない。

【質問】 国際化の展開を期待ALT増員は 【答】他市町と比べ接触時間が多い

【質問】 新学習指導要領の全面 控えている。ネイティブ

【質問】 実施が2020年4月に

【質問】 スピーカーの発音を聞かせることは大変有効。ALTを増員して英語教育の充実を図るべきでは。

【答弁(学校教育課長)】 外国人との触れ合い体験は、国際感覚を身に付ける上で重要。ALTは、小中学校において英語の指導助手として勤務している他、保育園・幼稚園で月2回程度簡単な遊びやゲームを実施している。他市町と比較しても子どもと

【質問】 国際感覚を身につけ成長できるよう育てていきたいとのことだが、教育長の子ども達にかける思いは。

【答弁(教育長)】 成長過程において、つけるべき力を身につけることができるよう、教育環境を整えることが責務と感じている。



再生可能エネルギーによる発電



国際人をめざして英語教育の充実を

田原祭(三社祭)一ノ宮敬神会 会長
 おお かわ ゆう へい
大川 雄平 さん



令和となり、初めての田原祭りで一ノ宮敬神会会長として、総勢 110 名の神輿の担ぎ手を指揮された大川雄平さんにインタビューしました。

インタビュー

Q. 敬神会会長となって、祭りにおける意気込みは？

A. 伝統と歴史あるお祭りに会長として携われることに感謝しています。五穀豊穡と家内安全を祈念して天高らかにお神輿を担ぎ上げたいと思います。

Q. 会長となって苦労したこと、うれしかったことは？

A. 16歳～29歳までが敬神会なのですが、絶対数が少子化で減っているので担ぎ手の募集には苦労しました。その中で三役や幹事の皆様が積極的に協力していただけるので、すごくありがたいですし、うれしいところです。

Q. 将来、親子で神輿を担ぎたいと思いますか？

A. 思いませんwww



Q. 苦労した点を今後どのように改善したいと思いますか？

A. 絶対数が減っているのは、僕たちだけではどうしようもないのですが、その分一致団結し、まとまり易いと思うので、今よりも皆で仲良く協力して横のつながりを大事にしていけたらいいです。

Q. 敬神会を来年以降どのように引き継ぎたいですか？

A. 今まで先輩方の背中を一緒に見てきたので、感じていることは一緒だと思います。僕達から特別に引き継ぐことはないですし、自分たちが感じたことを受け止め引き継いでもらえたらと思います。

Q. あなたにとって田原祭りとは？

A. 五穀豊穡とか家内安全とかいうてますけど、やっぱりお祭りって楽しんでなんぼで、皆で一日ワイワイ出来るのなんてお祭りぐらいですから、こんな楽しいイベントを作ってくれた神様に感謝しています。



三神社 敬神会の会長
 (左から西浦耕平さん、大川雄平さん、奥田友博さん)

先進地の事例を学ぶ
 議会活性化の取り組みなど

議会運営委員会は、10月7日・8日、議会活性化の取り組みについて、徳島県那賀町、兵庫県太子町で視察研修を行った。

那賀町

那賀町は、平成17年3月に5町村が合併し、広大な面積を有する人口約8200人のまちである。合併時52人いた議員

を、同年11月の選挙で19人に減らし、現在は14人となっている。平成24年に議会改革調査特別委員会を設置し、様々な取り組みを始めた。

議会も 事務事業を評価

今年度から決算審査の際、町の事業について議員が、目的、町民一人当たりのコスト、ニーズ等を点数化し、拡充・継続・縮小・終了等、今後の方向性を提起している。

議員発議による 条例制定

行政の提案に 対し、賛成、反対だけでなく、町政の課題解決や住民要望を実現するために、「住宅改修助成条例」や「山づくり条例」等を議員発議で制定。議案の修正や決議等も行っている。

タブレットやパワーポイントを使って

町のケーブルテレビを利用して、本会議の生中継、録画放送をしている。放送を見ている住民にもわかりやすいように一般質問ではモニターに資料等を映し出した。また、町が平成28年9月から、ペーパーレス会議システムを導入し、議会も

太子町

システムを導入し、議会もタブレットを使って、スリム化を図った。町全体で、年間約10万枚の紙、印刷・製本・配布等の作業コストを削減した。

全国町村議長の会 特別表彰を受賞

他にも議員が自らの活動を評価する「自己評価」、住民の声を聞く機会として車座会議(意見交換会)の開催、新潟県立大学の准教授を議会アドバイザーとして委嘱し、議会に関する専門的知識を得るためのセミナーを実施するなど、様々な活動をしている。これらの改革が評価され、平成29年に全国町村議会議長会特別表彰を受賞した。

議場を住民に開放

議場の机は可動式とし、円形型、対面型、座席なし等を選択できるようにし、高校のコーラス部による議場コンサート開催や、夏休み中、中高生の自習室とするなど住民にも開放しているが、机の移動など、会場設営には課題がある。

議会中継を開始

開庁をきっかけに最新の会議システムを導入し、議会中継(録画配信)を開始。電子表決システムを採用したが、押し間違い等もあった。しかし、個々の賛否が一覧で残るので、ホームページ等に掲載するのには便利であるとのことであった。本町議会においても新庁舎では新しい会議システムを導入する予定であり、太子町の事例を参考に、さらに検討していきたい。



表決の結果を示すモニター



議場で説明を受ける



特別委員会委員長から活性化施策の説明を聞く



田原祭の親子ショット



維孝館伝統親子競技(中学校体育大会)



親子二人三脚(宇治田原小学校運動会)

次回議会の予定
 〈12月定例会〉
12月4日 水開会日
 詳しい予定はHPにて
 お知らせします。

編集後記

実りの秋、運動会の秋、お祭りの秋。皆さんは、どのように秋を楽しまれているでしょうか。

地域の行事は、その準備段階から多くの人たちの協力があつて本番を迎えます。生活スタイルや行事への価値観の多様化により、結び付きが薄れてきていると言われまます。祭りに集まるたくさんの若者や、運動会の後片付けを子どもたちと保護者が一緒にしている様子を見ていると、結集することの大切さを思いつつ、まちは上手く回っていると感じた秋のひとつマでした。

議会へのご意見をお寄せください。

広報編集委員 馬場